ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	V-6	調査位置				北　緯	36 ° 39 ’ 07.3000 ”
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2010-08-31 ～ 2010-10-29	東　経	140 ° 07 ’ 34.1000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	150.07 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	8.45 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	148.57	1.50	1.50		表土（粘性土）(C)	褐灰			ローム主体の崖錐性堆積物である 含水は少ない 0.7m付近より黒色の有機土が点在する		
	146.37	2.20	3.70		砂質粘性土 (CS)	暗褐			全体に有機質な粘性土であり、炭化物が混じる 含水多く、軟らかい状態にある		
	146.07	0.30	4.00		ローム	褐灰			φ2～3mmの軽石粒が混入する		
	145.72	0.35	4.35		軽石 (Pm)	褐			φ2～5mmの粗粒な軽石を主体とする 含水多い		
	144.32	1.40	5.75		砂質ローム (S)	褐灰			粘性の強いロームである 薄層状に砂質帯を挟み、5.65m付近より細礫を含む		
	141.62	2.70	8.45		粘土質砂礫 (GSC)	褐			全体的に細粒分が多量混入する砂礫層である 礫はφ2～30mmの亜円礫と風化礫が混在する 6.8m付近より硬くなる		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／23	1／12		2／35	2
3.00	0／5	1／26		1／31	1
4.15	1／13	1／9	1／21	3／43	2
5.60	1／9	10／11	6	17／30	17
6.15	5	8	6	19／30	19
7.15	12	17	21	50／30	50
8.15	13	16	20	49／30	49

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
2.00	T-1	
2.85		
4.60	T-2	
5.45		

室内試験

掘進月日: 09/07, 09/08